

人権教育にかかわる年間指導計画(第2学年)

江戸川区立篠崎第五小学校

年間指導計画作成のための方針

- 児童が一人一人のよさを認め、よりよい人間関係を作るために、かわり合い、学び合う学習活動を行う。
- 児童の豊かな人間性を育み、生命尊重の心情や態度を育てる指導を行う。
- 体験的な活動を重視し、人権課題について学ぶことができるようにする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級活動	人権課題を考慮しながら、学年・学級目	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感をもつことができるようにする。			この1年間での自他の良さの伸びや高まりを実感できるようにする。			
各教科	算数 児童一人一人が基礎的な力を身に付けられるための、少人数によるきめ細かい学習指導										
			国語「きつねのおきゃくさま」 国語「手紙でつたえよう」 相手に読みやすいように、自分の思いを伝		国語「さげが大きくなるまで」 命の連続性や有限性に気付く。		国語「かさこじぞう」 おじいさん、おばあさんの優しい気持ちを読み取る。		国語「一年間のできごとをふりかえって」 友達の作文を読み合い、表現や生活態度の良いところを発表する。		国語「アレクサンダとぜんまいねずみ」 場面の移り変わりや人物の心のふれあいを読み取る。
	体育「おにあそび」 ルールを守って仲良く遊ぶ。			体育「水遊び」 きまりを守って、安全に留意する。							
道徳	礼儀 あいさつの大切さを知り、気持ちのよいあいさつをしようとする。	思いやり 親切 身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする。	生命の尊重 かけがえのない生命の尊さに気付く、大切にしようとする。	信頼・友情 友達と仲良く助け合おうとする。	信頼・友情 友達のことを思い、助けようとする。	善悪の判断 正しいと思ったことは、勇気を、もって行おうとする。	思いやり 親切 身近な人に温かい心をもち、親切にしようとする。	生命の尊重 身近な生き物の誕生や成長を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする。	思いやり 親切 友達や幼い人に温かい心をもち、親切にしようとする。	生命の尊重 かけがえのない生命の尊さに気付く、大切にしようとする。	善悪の判断 よいと思うことは、すすんで行おうとする。
生活科	「教えてあげるよ」 友達や2年生と一緒に学校を探検して、優しくお世話する。	「ぐんぐんそだて わたしのやさい」 自分で野菜を育てて、草花に関心をもち、命を大切にしようとする。			「うごくうくわたしのおもちゃ」 地域の人等に普遊びを教えてください、一緒に楽しむと共に、お礼に気持ちを表す。			「もっとなかよしまちたんけん」 まちの調べたい施設に見学に行ったり、調べたり、働いている人にインタビューした			「あしたヘジャンプ」 小さかったころの聞き取りなどを通して、自分の成長に実感をもち、友達と共に成長を認め合う。
			「どきどきわくわくまちたんけん」 自分たちのまちの良さに気づき、まちについての								
特別活動	たてわり班活動、異年齢集団による児童の関わりを重視した活動										
	学級活動 係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う、	体育発表会 協力し合って演技をする。友達を応援する。					学芸的行事 友達のよさを認め合う。				学級活動 自己の成長を確認し、新学年に向けて、新たな目標を考える。
生活指導	基本的生活習慣の徹底										